令和6年度 第2回河内町特別職報酬等審議会
議 事 録

令和6年5月10日（金）

第2回河内町特別職報酬等審議会

1. 日 時
令和6年5月10日(金)
13時00分から14時30分まで
2. 場 所
河内町役場2階 会議室
3. 出席委員
元教育長 大野 繁
農業委員会長 栗山 功
元議会議員 篠原 佳治
町民代表 眞行寺 博
元副町長 藤井 俊一
4. 次 第
(1) 開 会
(2) 議 事
①答申書について
②その他
(3) 閉 会

【事務局】 この度は特別職報酬等審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。皆様お揃いになりましたので、第二回の会議を開会させていただきます。それでは開会にあたりまして、大野会長よりご挨拶をお願いいたします。

【会長】 (あいさつ)

【事務局】 ありがとうございます。それでは議事に移りたいと思いますが、条例第4条第2項の規定により、議長を大野会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

【会長】 それでは早速ですが、今日の内容は答申書についてですので原案について事務局の方から説明をお願いいたします。

【事務局】 (原案を読み上げる)

【会長】 報酬額については時間が必要かと思しますので、最後に回します。ですので、報酬額以外の項目の文面から皆様のご意見などありますか。改定時期についてですが、来年度4月からの改定ということで大丈夫ですか。審議開催の経緯についてはこの通りの文章ですから特に異論は無いですね。社会情勢についてという項目もごく当たり前のことですので大丈夫ですね。審議会での意見が3点まとめられておりますけども、これに何かご意見があれば付

け加えたりしたいと思うのですがいかがでしょうか。

【委員】 あまりこの件について詳しくないのですが、約 20 年報酬額の見直しとか会議を行っていないわけですよね。5 年毎では頻度が高すぎるので、大体 10 年毎には報酬額について近隣市町村、県外も参考にしながら調整していくとか、そういうことが必要なのではないかと思います。結局 20 年前に改定して報酬額を下げたわけですよね。人口が少なくなって、少子高齢化が進んで 65 歳以上が 40%を超えるような状況で議員のなり手が働きに行くので精一杯な時代なので、これで議員活動をするときに報酬である程度支えてあげないと、議員のなり手が少なくなってしまいます。これから河内町が存続する為にも、報酬を見直す時期も一緒に検討した方がいいのではないかと思います。

【委員】 ある程度基準の期間を設けるようにした方がいいと思います。

【会長】 期間を具体的に示しておかないと、判断が難しいと思います。

【委員】 付帯意見ということで入れておいた方がいいのではないのでしょうか。

【会長】 それでは何年にしましょうか。10 年という話もありましたが。

【委員】 10 年は長いような気がします。3 年では短すぎるので 5 年くらいがいいのではないのでしょうか。

【委員】 4 年でいいと思います。

(賛成の声)

【委員】 先日、新聞を見ていたら、議員のなり手が少ないという記事を見つけました。無投票が 27 倍と。こういった問題を解消するためにもしっかりと上げ幅をもって上げないと活性化しないと思います。そうしないと河内町を変えるために頑張ろうと思える人が出てこないと思います。それと、女性の議員も 1 名しかいないので、これから女性が参加しやすいような雰囲気を作らないといけないのかなというような気がしますね。

【委員】 とくに田舎だと女性が出にくいというのは大きいですね。ただ、議員報酬を生活給として成り立たせるには 35 万か 40 万くらいはないといけないので、本来なら勤めに行った方がお金になるわけです。サラリーマンをやめて議員になろうと思う人もいないのですから、自然と 65 歳の定年を迎えて議員になる人や、働きながら議員活動をする人ばかりになっているのです。それ以外に議員になる方法が無いので。

【委員】 40 代 50 代の方は私たちと比べて年代も違うし、発想も豊かだと思います。なので、誰でも立候補できるような環境にするには報酬を上げるべきだと思います。志があって議員になるわけですから、報酬を上げていった方が河内町の閉塞感をなんとか打ち破るような人材が増えていくのではないのでしょうか。

【委員】 私がある団体で勉強していてよく聞くのが、現状を変えるにはよそ者、若者、馬鹿者と言っておまして、ある程度型が外れたような人がいないと変えることもできないだろう。というのがあって、まさしく先ほどありました、若い人の考えだとか行動。そういったものが芽生えるような形で教育していきたいな

と思っております。金額だけではないのですが、そういうところをしっかりと見ていきたいなと思えます。

【委員】 今地域計画をやっているのですけれども、まちづくりとあわせて農地についても考えていかななくてはなりません。ですので、今後いかに活性化していくかが課題だと思えます。

【会長】 報酬を上げるとなると税金が出るわけなので、議員は今以上に職責を全うしていただきたいです。そこでうまく表現出来たらと思えますね。

【委員】 議員活動の実態は議会だよりでしか見ることができないので、議会でどういうことをやっているのか。そういったことが表に出てきていないことが問題だと思えます。誰かが何かを提案して、その提案したものがしっかりと行政に反映されているのか。そういったものが可視化されていません。最近では議員報告会をやるにはやっていますが、そこで町民との意見交換はなく、一方通行になってしまっているのが現状です。

【委員】 我々も意識を変えていかないと議員も変わらないと思えます。河内町で一番大きな問題は少子高齢化です。たった 7500 人しかいないのですから。そういう問題も先進地の視察や、議員が持ち上げてくれないと消滅してしまいますよ。

【会長】 それでは戻りまして、報酬の月額というところで、
(資料を見ながら一通り報酬額の口頭確認をする)

【委員】 議員の報酬を上げたいという話を踏まえると、案の中では 319,000 円。私はこれがいいのではないかと思えます。

【委員】 とりあえず 1 番になる必要は無いですよ。

【会長】 町の税収も減っているわけですから、それも頭に入れながら計算しないと。

【委員】 44 の市町村があってダントツで最下位の金額ですからね。

【委員】 決して河内の財政はいいわけではないです。

【委員】 議長 34 万、副議長 31 万、議員 30 万でいかがですか。

【委員】 議員 30 万とのことですが、先ほどから意見がある、議員のなり手不足や今後の議員活動、若い方がなったときのことを考えたいですね。

【委員】 これからの河内を考えた時に今後若い方が議員になってしっかりと活動できるか。報酬目当てで議員になる人は少ないと思えます。

【委員】 私も賛成です。40、50 代の方がならないと、町はずいと思えます。

【委員】 私は上げることには大賛成です。お金に左右されるのではなく、こういう町にしたいという想いにお金がついてくるという風に考えていただきたいです。ただ、実際はそういう仕組みになっていません。

【委員】 私も上げることには賛成なのですが、大幅に上げてしまうというのはどうかと思えます。

【委員】 議員の報酬は一般の給与と違って、昇給がありませんから。

【会長】 それではこれまで沢山の貴重なご意見をいただいておりますから、そろそろ額を決定しましょう。先に議員の答申額を決めましょう。

- 【委員】 私の意見としては少しでも高い方がいいかなと思います。議長は結構出てくる
ことが多いから大変ですよ。この審議会では報酬額を改定してみたら、実際に
この上がった報酬に応えようと頑張る人が増えるかもしれません。
- 【会長】 つまり、可能な限り、上げてみたいと。
- 【委員】 はい。自分としては先のこと、これからの議員活動やなり手不足という問題を
考えて、これからの議員への期待という意味も込めて報酬を上げるのはいかが
でしょうか。
- 【委員】 私は改正前に戻す案がいいと思っておりまして、その案に物価指数のことも考
えてプラス5%ほど増額するのがいいのではないかと思います。実際に5%増額
するといくらになりますか。
- 【事務局】 議員が304,500円、副議長が315,000円、議長が346,500円、教育長が525,000
円、副町長が588,000円、町長が756,000円です。
- 【会長】 改正前の額に1.05を乗じた額ですね。
- 【事務局】 はい。
- 【会長】 とりあえずは議員が30万、副議長が31万、議長が35万という線で決めては
いかがでしょうか。
- 【委員】 議長は忙しいですからね。
- 【委員】 それか議員31万、副議長32万、議長35万にしますか。
- 【委員】 先ほどのものが5%かけたものであれば、7%かけたものも計算していただ
けませんか。
- 【事務局】 議員310,300円、副議長321,000円、議長353,100円になります。
- 【会長】 それでは、端数を切って議員31万、副議長32万、議長35万ではいかがでし
ょうか。
- (賛成の声)
- 【会長】 それでは次に教育長を決めていきます。
- 【委員】 教育長に7%かけたらいくらになるのですか。
- 【事務局】 535,000円です。
- 【委員】 5%だといくらですか。
- 【事務局】 525,000円です。
- 【委員】 パーセントで考えるのもいいと思いますが、近隣市町村を参考にしたら
いかがでしょうか。
- 【委員】 やはり改定前を参考にしておかないと。
- 【委員】 教育長、副町長は選挙がなく選任されている訳です。そこで報酬を多くも
らうのもどうかと思います。
- 【委員】 改定前を基本に近隣市町村を参考にしてみてもどうでしょうか。
- 【事務局】 美浦、阿見、利根、河内（改定前）の平均が518,250円です。
- 【会長】 それでは51万円ではいかがですか。
- (賛成の声)

- 【会長】 それでは副町長はどうしますか。
- 【委員】 教育長と同じ計算でいかがでしょうか。
- 【委員】 そうですね。
- 【事務局】 575,250 円です。
- 【会長】 それでは 57 万円にしましょう。次に町長ですね。
- 【委員】 町長というと大変ですよ。
- 【委員】 議員は何%ですか。
- 【事務局】 7%です。
- 【委員】 町長も 7%で算出するといくらになりますか。
- 【事務局】 770,400 円です。
- 【委員】 77 万でもよさそうですね。
- 【会長】 それでは 77 万でよろしいですか。
(賛成の声)
- 【会長】 皆様ありがとうございます。これでなり手が増えることでしょう。せっかくお集まりいただいたので、何かご意見があればお願いします。無いようでしたら、最後に事務局から確認事項などありましたらお願いいたします。
- 【事務局】 それでは本日の会議の確認をさせていただきます。まず答申額についてですが、町長が 77 万円、副町長が 57 万円、教育長が 51 万円、議長が 35 万円、副議長が 32 万円、議員が 31 万円ということで答申書を作成させていただきます。文面については問題無しということで、このまま使わせていただきます。意見につきましては、様々なご意見いただきましたので、事務局でまとめさせていただいて、出来上がり次第、皆様に郵送して内容を確認していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。最後に次回の会議についてですが、書面決議のほうがよろしいか、もう一度集まっていたほうがよろしいか、どちらにしましょうか。
- 【会長】 書面決議でいいと思います。それではこれで終わりにしたいと思いますので事務局でお願いいたします。
- 【事務局】 貴重なご意見をいただきありがとうございました。我々も大変参考になりました。本当にありがとうございます。それではただいまを持ちまして 第二回特別報酬等審議会を終了させていただきます。本日はお疲れさまでした。